

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスみなのはせ見			
○保護者評価実施期間	R8年 1月 10日		～	R8年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数)	22
○従業者評価実施期間	R8年 2月 2日		～	R8年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 13日			

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・放課後等デイサービスで専門職(PT、OT)を導入し、児童の身体の状態を詳細に把握して支援に活かしている。	・遊びの中にリハビリ要素を取り入れ、児童が楽しみながら体幹や筋肉を鍛える。 ・個々の発達段階に応じて負荷を調整し、無理なく継続できる支援を実施。	・専門職の連携強化・研修充実。 ・定期的なケース会議で支援計画の見直し、リハビリ技術の研修や勉強会を積極的に行っていく。
2	・利用児一人ひとりとのコミュニケーションを重視。	・個別支援にて1対1の個別支援を行い(適時)、継続的かつ丁寧な関わりを実施している。	・職員間で連携しながら、一人ひとりとの関わりをさらに大切にした支援を継続。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・送迎スケジュールの重複や複数学校送迎による効率の難しさ。	・学校行事、急なスケジュール変更による臨時対応の必要、車両定員やスペース制約。	・送迎スケジュール最適化(学校下校時間・行事を事前把握)。 ・フレキシブルな対応体制構築(予備車両・追加職員配置)。 ・ICT活用によるリアルタイム管理・情報共有。
2	・保護者会や地域との交流が少ない。	・事業所への出入りには不審者侵入のおそれもあるため、見学の受け入れ等を行う際は事前の予約がないと難しい。 ・保護者同士の交流の場を定期的に行う時間や場所の確保が難しい。	・公園活動等で地域との関りが持てるよう取り組んでいく。 ・年に1回の保護者会を行っているが、参加率が半分以下であり保護者に参加していただけるよう、声かけを行なっていく。
3			